

東根市子育て支援センターだより

サロンの風景



暑かった夏も終わり、日ごとに秋の色が濃くなってきましたね。
朝夕は寒くなりましたが、日中はとても過ごしやすい季節です。心地よい風・お日さまのポカポカした陽気・くだもの色・葉っぱの色・・・いろいろな秋を感じながら、お散歩や外あそび・親子の触れあいを楽しんでくださいね。

土曜日サロン

～パパサロン～



我が子より小さい赤ちゃんを抱っこ
「かるいなあ～」



パパの読み聞かせが始まると
自然とみんなが集まります

毎月第2第4土曜日に開催している土曜日サロン。「いつもママと赤ちゃんが来ている場所ってどんどころ?」「気になる場所だけ入りづらいなあ」と思っているパパ達が参加しやすいサロンです。(お母さんだけやお祖母ちゃんと一緒でも、大丈夫です。)
パパ達も顔見知りになるとパパ同士やママも一緒に話が弾みます。お風呂で子どもと楽しむ方法やママへの気配り(?)方法を熱く語ったり、ぐずり始めた我が子を懸命にあやしたり、隣にいた赤ちゃんを抱き上げ遊んでくれたり、パパの意外な一面が見えるかも...。
身長体重測定やふれあい遊び・絵本の読み聞かせも行っています。パパを誘って遊びに来て下さい。



11月13日(日)生涯学習フェスティバルでは10時から「パパサロン」～イクメンパパの体験談～として東根市子育て健康課の先輩イクメンパパをゲストに情報交換会を開催します。
この機会に是非パパサロンに遊びに来てくださいね!

遊戯室から こんにちは!

9月編



大泉 真奈ちゃん 1才6ヵ月
2ヵ月の頃からサロンを利用させていただいています。いろいろなおもちゃがあり、それぞれの月齢にあわせて楽しく遊んでいます。お友達との交流もとてもいい刺激になっています。スタッフの方やママさん同士で情報交換したり、相談にのってもらったり、私もとても助かっています。



今野 橙磨くん 9ヵ月
赤ちゃんサロンの時から、お世話になっています。オモチャがたくさんあって、広くて涼しくて、自由に遊ぶことができているので楽しいです。つかまり立ちをするようになり、目が離せなくなってきましたが、日々の成長が嬉しいです。



門脇 みのりちゃん 1才2ヵ月
いつも楽しく利用させていただいています。サロンや遊戯室での遊び方も成長とともにどんどん変わってきています。毎日新しい発見があります。子どもにも親にとっても、とてもいい刺激になります。そんな場所があることを大変ありがたいと思います。



阿部 颯大くん 1才
赤ちゃんサロンから利用させていただいています。いつも、スタッフさんやママさん達にアドバイスをいただき、とても助かっています。広いお部屋でハイハイをしたり、お友達とおもちゃの取り合いをしたり、家では見られない一面が見えていつも楽しく通っています。



清野 こなつちゃん 1才1ヵ月
ほとんど毎日楽しく利用させていただいています。おもちゃもたくさんあるので、母子共に充実した時間を過ごしています。自宅では見れない娘の姿を楽しんでいます。



佐藤 匠くん・朱莉ちゃん 1才5ヵ月
8ヵ月頃から利用させていただき、子ども達もおもちゃやお友達と遊んだり、スタッフの方にもかかわっていただき、親子共々楽しく利用させていただいています。今後もお世話になると思いますのでよろしくお祈りします。

これからの予定

10月のテーマトーク

「先輩ママのアイデア交換会」
10月24日(月)よちよちサロン
10月25日(火)たちサロン
10月27日(木)赤ちゃんサロン

移動子育てサロン「おひさま」

神町下三区公民館(毎月第1水曜日) 大富公民館(毎月第3水曜日)
10月...「体をうごかしてあそぼう」
11月...「段ボールであそぼう」
12月...「牛乳パックを使ってあそぼう」

赤ちゃんの遊びってなんだろう??



手をにぎにぎも赤ちゃんにとっては遊びのひとつ

子どもにとっての「遊び」は、「魂の活動」、「遊ばないと、心がカラカラに乾いて死んでしまう!」と熱く語るNPO法人日本冒険遊び場づくり協会 事務統括理事 天野秀昭氏の講演会が9月11日、12日にさくらんぼタントクルセンターを会場にして開催されました。「でも、うちの子は、ハイハイも出来ない赤ちゃんだし...。今からなにをすればいいのかしら?」と考えてしまいます。寝てばかりいた赤ちゃんが教えてもいないのに懸命に腕を動かし指しゃぶりを始めます。自分の存在を確認し安心しているとき、「指しゃぶりはダメ!」と、手を離される。ハイハイをして自分の行きたい所に行こうとすると、「ダメダメ、こっちで遊ぼう。」と、連れ戻される。好きなおもちゃをなめていると「なめてダメ!」と、取り上げられる。赤ちゃんも、『やりたい』気持ちを否定し続けられると、心が折れてしまいます。やりたいことを自分が満足するまで繰り返し行い、次の遊びを発見して行く。赤ちゃんにとっては、ゆるる物、動く物をじっと見ているだけでも満足。つまり、心が満たされる自分だけの「遊び」がはじまっています。『やりたい』の主人公は、赤ちゃん自身です。赤ちゃんが興味を示したものをお母さんも一緒に楽しむことで赤ちゃんの遊び心が高まります。



天野先生のお話から...



NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 事務統括理事 天野秀昭氏

子供自身が体験・経験しないと、その子の生きる力は育たない
 ヌルヌル・ネチャネチャした感触を楽しむこと・ハイハイしながらお友達のところに行き、その子の顔や頭に触れること・お友達が持っているおもちゃがほしくなって取り合いになること・滑り台に乗りたくて割り込んでしまうこと・・・全ての体験・経験が五感やコミュニケーション能力・自己解決能力を育てます。途中で遮らず、見守ってあげましょう。

遊ばないと心が死んでしまう

骨が折れると大騒ぎするのに、心が折れても気付かない大人が多いのが現状です。自分の気持ちを抑えられながら育った子は、だんだん何に対しても「どうでもいい」と無関心状態になってしまいます。自分が困ったとき、自分自身で解決し乗り越える『力』を育てるためにも子どもが「やってみたい」を発信したら受け止めましょう。



ぼくは水たまりに入るのが大好き!



どんなに小さくても自分のやりたいことあるんだね!



移動子育てサロン

おひさま

第1水曜日は神町下三区公民館
 第3水曜日は大富公民館で
 10:00~11:30まで
 開催中

水あそびやししゃぼん玉あそびなど外での活動を楽しんだ移動子育てサロン「おひさま」の様子をお知らせします。



大きなテーブルにおもいっきりお絵かきしたり、初めてのシールをはったり
 ママ達も自然と集まりおしゃべりタイム



0~3才までの移動子育てサロンなので異年齢児のかかわりがたくさんみられます!小さなママがたくさんいるので兄弟が一緒に参加でも大丈夫です!



子ども達はいつの間にか自分の好きな場所であそんでいます。
 ~ママ達はみんなで集まってバスボムづくり~
 その後、ママ達のつくったバスボムを入れて水あそびをしました



服を着たままジャパーン!!



うちわの骨を使ってのしゃぼん玉もしたよ~
 たくさんのしゃぼん玉が飛んでいったね



しゃぼん玉のストローも使い方次第で
 こんな遊びになるのです...(^o^)



木の棒がシャベルに変身
 砂遊びができちゃった

東根市子育て支援センター

さくらんぼタントクルセンター内

連絡先: TEL 0237-43-0731 FAX 0237-43-0732

MAIL: gyutto@tantokuru.jp